

韓国慶山市を訪ねて

～ 2009 年度（平成 21 年度）中学生韓国派遣記念文集～



サドン
巳洞中学校にて



慶山市役所にて

この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2010年3月25日から28日までの3泊4日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生12人の感想文です。

この事業は姉妹都市である大韓民国慶山市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらおうと当協会が1994年から実施しているものです。すでに122人の中学生がこの事業を通して慶山市を訪問しました。

かつては「近くて遠い国」と呼ばれていましたが、近年は文化交流に見られるようにすっかり「身近な国」になってきました。

今回も新たに市内在住の中学生12人が大韓民国を訪れました。文化や習慣に触れ、慶山市の中学生との交流を通して得た体験や感想が、日本のパートナーと共に歩む未来への礎となることを希望いたします。



目 次



ページ

派遣団の主な日程					2
「中学生韓国派遣に参加して」	西城陽中学校	1年	岡本 波瑠香		3
「韓国派遣団に参加して」	南城陽中学校	2年	荻野 みずき		4
「韓国派遣団に参加して」	城陽中学校	2年	栗田 航介		6
「韓国を訪問して」	京都文教中学校	2年	興梠 未樹		7
「韓国に行って」	東城陽中学校	1年	小谷 静也		8
「一生の思い出にのこった韓国旅行」	北城陽中学校	2年	十川 宗一郎		10
「中学生韓国派遣で感じたこと」	東城陽中学校	1年	寺前 希保		11
「韓国を訪問して」	東城陽中学校	2年	寺前 沙倭		12
「手に入れた宝物」	洛北高等学校附属中学校	2年	中井 瑞希		14
「韓国派遣団に参加して」	城陽中学校	2年	中村 帆志		15
「韓国を訪れて…」	京都教育大学附属桃山中学校	2年	原口 夏歩		17
「2009年度中学生韓国派遣団について」	東城陽中学校	1年	松田 健太郎		18

※学年は2009年度のものです。

あとがき	派遣団団長・城陽市国際交流協会副会長	人見 章夫	20
	引率・協会職員	大久保 雅由・馬場 牧子	

2009 年度派遣団の主な日程

2010 年 3 月 25 日（木）

城陽市役所を 8 時に出発

関西国際空港から空路釜山金海空港へ

バスで 慶山市へ移動

慶山市長・慶山市議会表敬訪問

慶山市場見学（この日はとても寒く折からのあられのためゆっくり見学できなくて残念）

慶山石井温泉ホテル泊

3 月 26 日（金）

巳洞中学校にて学校見学・交流会・給食体験

カップウィ登山

慶山市立博物館見学

慶山石井温泉ホテル泊

3 月 27 日（土）

慶州にて石窟庵、仏国寺見学（共に世界文化遺産）

東大邱駅より KTX（電車）でソウルへ移動

南大門市場見学

※ソウルタワー見学は週末の混雑のため予定を変更

ソウル明洞・パシフィックホテル泊

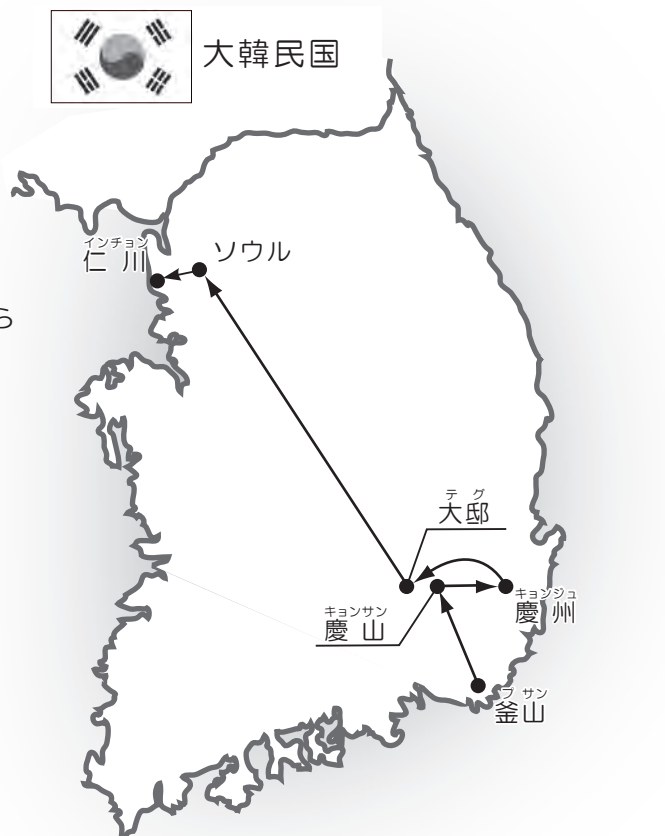
3 月 28 日（日）

昌徳宮（世界文化遺産）見学

仁寺洞・明洞散策

ソウル仁川国際空港から空路関西国際空港へ

城陽市役所に 23 時帰着



慶山市



釜山空港に到着！
慶山市が横断幕を用意してくださいました。

大邱広域市

永川市





「中学生韓国派遣に参加して」

西城陽中学校 1年 岡本波瑠香

今回、姉妹都市である慶山市^{キョンサン}へ行く中学生派遣団に参加しました。

参加は自分で希望したのですが、日が迫るにつれ、「あこがれの韓国へ行ける！」という期待と同時に、「韓国の中学生と上手く交流できなかったらどうしよう…」という不安が高まる一方でした。

そんな気持ちで迎えた韓国出発日。朝早くから市役所に集まり、バスに乗って関西国際空港まで、約二時間をかけて到着。食事などで時間を潰し、飛行機に乗り込みました。私は車酔いをするので、まさか…と思っていたら、案の定出発から二～三分で酔いました。気持ち悪かったです。

釜山^{プサン}から慶山市^{キョンサン}へ～

慶山市^{キョンサン}で、市長さんに会いに行きました。通された部屋が、ドラマなどに出てきそうな立派で綺麗な部屋でした。なので、城陽市の市長さんへの結団式と同じく、すごく緊張しました。でも、優しい人でよかったです。

その後、慶市場^{キョンサン}へ行きました。ヒョウが体に当たって痛く、前について行くのがやっとだったため、周りの様子をほとんど見れませんでした。とても残念でした。

二日目

朝早く目が覚めました。朝食を食べ、制服を着て、サドン中学校へ。学校ではたくさんの生徒が窓から手を振ってくれました。図書室でも、カーテンの隙間からたくさんの顔がのぞき、「オハヨウ」「コンニチハ」などの間に「バカヤロウ」なんて言われました。(笑)でも、皆一生懸命話そうとしてくれていて、嬉しかったです。

ペアの子と話す時、まず何を言えばいいのかわからなくて、お互いにしばらく黙ったままでした。相手のウンヘさんの「マツモトジュン」から会話

が進み、時間が終わるころには意気投合して、すっかり仲良くなりました。初め、韓国語と日本語でぎこちなく話していたのが嘘のように、いつの間にか英語で楽に会話をすることができました。短くても、ちゃんとした受け答えになった時は本当に嬉しかったです。



着替えた後、一緒にカップウィ登山をしました。初めから坂がきつくて、走り回りながら登っている皆がすごいなと思いました。雪もたくさん積もっていて、「きれいだな」と思いながらボーっと眺めていたら、腕を押されて横の溝にはまりました。そこにもたくさんの雪が積もっていたので、スネ辺りまで濡れてしまいました。いきなりだったのでびっくりしました。

頂上に着くと、まず大きなカップウィが目につきました。日本の大仏ととても似ていること、雨ざらしになっていることなどに驚きました。周りの景色もすごくきれいでした。

博物館を見学してからサドン中学校へ帰りました。半日以上一緒にいたのに、まだたくさん話したくて、本当に名残惜しかったです。ですがこの交流を通して、韓国の文化や考え方などを知ることができ、自分の為にもよいものとなりました。機会があればまた行きたいと思います。

三日目

この日は世界文化遺産である慶州^{キョンジュ}の石窟庵^{ソクラム}と仏

グサ 国寺を見に行きました。それぞれのガイドさんに説明をしてもらいましたが、内容が多すぎて全然分からなかったです…。

韓国の昔の建物は、日本と比べてすごく派手な色をしていました。上に緑色が多く、下へ行くほど赤色が多くなっていました。屋根の軒下の作りも細かくてきれいで、「昔の人はすごいなあ」と感動しました。

夜、残念なことにソウルタワーは行けなかったけど（同行したガイドさんの同僚からの連絡で、当日は週末で混雑し2時間待ちとなることが判明）、代わりに南大門市場へ行きました。お店だけでなく、屋台がたくさん出ていました。食べ物がいっぱいあり、アクセサリーや靴下なども多かったです。韓服買えば

よかったなあ…と、あとで少し後悔しました。

四日目

朝はいつもより早めに起きて、昌徳宮^{チャンドックン}へ行きました。中の見学は一時間半程度でした。人が多いのと、説明の進みが早いので、ここでもあまり話が聞けませんでした。でも、建築物や景色をいっぱい見ることができたので良かったです。

最後は、明洞^{ミョンドン}で買い物をして帰りました。

四日間、韓国の町や世界遺産の見学、中学生交流をして、たくさんのことを学びました。日本との違いもあり、初めは慣れないこともあったけど、今回の体験は本当に楽しく、思い出に残るものになりました。



「韓国派遣団に参加して」

南城陽中学校 2年 荻野 みずき

私は、この韓国派遣団に応募して本当に良かったと思います。なぜなら、韓国の文化や歴史をたくさん学ぶ事が出来たからです。

一日目、私は初めて韓国に行くので、とてもわくわくしていました。市役所から二時間くらいバスに乗って関空に着きました。それから昼食を食べて飛行機に乗りました。久しぶりの飛行機はジェットコースターみたいで楽しかったです。でも、すごく耳が痛かった…。あっという間に韓国に着いて、バスで慶山市長^{キョンサン}を訪問に行きました。バスはすごく豪華でびっくりしました。慶山市長^{キョンサン}に会い、お土産をもらって、慶山市の紹介ビデオを見ました。その時に出示てもらったジュースは正直あまりおいしくはなく、全然飲めませんでした。夕方になり、慶山市場を見学しに外に出たら…なんと曇^{みぞれ}が降っていて、見学している場合じゃなかった。バスに戻って今度は夕食。ご飯は焼肉みたいな感じでおいしかったけど、辛かった。おかゆやスープ、最後にはかき氷みたいなものも出て

きてお腹がいっぱいになった。ホテルに行って、自分の部屋に入るとめっちゃあつかった。なので窓を開けたり少し温度を下げてもらった。その後、お風呂に入り、トランプをしてすぐに寝てしまった。



二日目は、初めて韓国の朝ごはんを食べた。とにかく量が多い。しかも朝からキムチが出てきたので、さすが本場やなと思った。ご飯を食べて、荷物を用意して、バスで中学校へ向かった。中学校へ着くと、めっちゃすごい人数の生徒達が自分達を囲んでびっくりした。なんか有名な人になつたみたいで嬉しかった。その後、その学校で

選ばれた人達と交流会をした。私は、千代紙と和風のメモ帳をあげた。相手の子はとても喜んでくれて安心した。それから、韓国語で話そうとしたけれど難しくてなかなか質問出来なかった。そして向こうから質問してくれた。でもよく分からなくて困っていたらいきなり英語で話しかけられてびっくり、あまり歳は変わらないのにめちゃくちゃ上手かった。自分ももっと勉強しなアカンなと思った。それから、チマチョゴリを着た。初めて着てみて、思ったのは「歩きにくい。」でした。



でも、日本の着物よりは、とても着やすいなと思いました。その他にも、学校の設備を見せてもらったり給食を食べたりして、韓国の中学校は日本の中学校よりも充実しているなと思いました。その後みんなでカップウイを登りました。山には雪がいっぱい積もっていました。そのせいで、滑りそうになり怖かったです。上まで登るのは予想以上にきつくて、しんどかったけど、山の上から見る景色はとてもきれいでした。それから慶山市立博物館に行きました。そこでは、今まで全然知らなかった韓国の歴史をたくさん知ることが出来ました。ここでは、韓国と日本は少し似ているなと思いました。その後、向こうの中学生とは別れて夕食を食べに行きました。それからホテルに帰ってすぐに寝ました。

三日目は、朝、モーニングコールで目が覚めて、朝ごはんを食べました。この日の朝のスープはめっちゃ辛かった。それにお腹がいっぱいでほとんど残してしまいました。三日目に泊まるホテルは二日目までとは違うので荷物をまとめてバスに乗った。その後、慶州石窟庵キョングソク ラ ムに行った。長い坂を歩いた。

そこでもいろいろな話を聞いた。その後、東大邱トンテグ駅に行って、新幹線のような電車に乗った。二時間ぐらいしてソウル駅に着きそれから明洞ミョンドンに行きホテルに着いた。二日目までのホテルとは違ってきれいだった。それから歩いて夕食を食べに行った。そこはまだ食べ終わってなくても、次から次へと料理を出してくれるのでお腹がいっぱいになり最後の方の料理には手がつけられないくらいだった。予定では、このあとソウルタワーを見に行くはずでしたが、待ち時間がかかるのでなくなり、すごく残念だった。でもかわりに南大門市場に行くことが出来た。ここでは、韓国のりや韓国では有名なお菓子を買う事が出来た。

四日目は、朝ごはんが久しぶりに洋食でちょっと嬉しかった。その後、昌徳宮チャンドクグンや仁寺洞イン サドンに行った。街中にはお寺などがたくさんあった。四日目の移動はほとんど地下鉄だった。韓国の切符は日本みたいに機械の中に通すのではなくてピッと機械にあてるだけなので、楽だった。仁寺洞イン サドンに行った後に少しお茶をした。ゆず茶を飲んでお菓子もらった。めっちゃあまくておいしかった。その後少しお買い物をした。それから明洞ミョンドンに戻り昼食を食べた。昼食はビビンバだった。日本で食べていたのよりも辛かったけどおいしかったし、今までの中で一番馴染みのあるご飯だったので全部食べました。その後また買い物をしました。キムチを買ったり化粧品を買ったりといろいろ買う事が出来ました。それから空港に行き、飛行機に乗って、行きよりもすぐに関空に着いた感じがしました。それからバスに乗り市役所に着きました。

この四日間で私は本当にたくさんの事を学びました。韓国での食文化やマナー、歴史。今どのように変わっているのかなど、日本とは違うけど、どこか同じような感じがしたりしました。今回の韓国派遣団は私にとって一生の思い出になりました。



「韓国派遣団に参加して」

城陽中学校 2 年 栗田 航介

今回、僕がこの韓国派遣団に参加したのは仲の良い友達に誘われたことと、食べ物に興味があり、海外に行きたかったからです。

3月25日から城陽市を出発して関西空港に着きました。飛行機に乗っている時間は短かったけれど乗る前からわくわくしていたので楽しかったです。

韓国に着きました。韓国に着いて思ったことは「日本と全然変わらないなあ〜」でした。そして先ず最初にガイドの人と一緒に慶山市^{キョンサン}の市役所へ行きました。そこで慶山市文化などのビデオを見ました。その時飲んだジュースは甘かったのですが少し気持ち悪くなりました。次に議場の方に行きました。韓国の議場は韓国らしさがあって良かったです。そして市役所訪問を終えた後、慶山市^{キョンサン}の市場へ行ったのですが、残念ながらみぞれが降ったのでゆっくり見れませんでした。その後カモ料理を食べました。辛かったけど美味しかったです。そしてソクチョン温泉ホテルに行きました。温泉は気持ち良くて部屋はオンドル部屋だったので最高でした。

二日目、その日は巳洞中学校^{サドン}の中学生との交流日でした。僕はどんなところなんだろうと思いながら巳洞中学校^{サドン}に行きました。巳洞中学校に着くと向こうの生徒は窓から顔を出して歓迎してくれました。何だか有名人になった気分でした。先ず最初に校内巡りをしました。校舎がとてもきれいで日本とは違う勉強方法をしていたので驚きました。そして校内巡りが終わりにいよいよ中学生と交流の時間が来ました。僕は中学生の方にあいさつをする役だったので韓国語であいさつしました。緊張しましたが上手く言えたので良かったです。それから自己紹介をしてプレゼント交換をしました。ペアの人は、キム・インホという人で男

の子でした。プレゼントで遊んだり、韓国語で話したりしているとだんだん仲良くなっていったのでとても楽しかったです。その後韓国の民族衣装を着たり、一緒に給食を食べて、カップウィ山に行きました。そこはかなり急で階段の幅も狭かったのですが登ってみると景色がきれいでした。またその山では願い事が叶うと言われていたので願い事をしました。次に博物館を訪れました。館内を見て回っていたら慶山市^{キョンサン}の歴史がよくわかり慶山市^{キョンサン}は素晴らしい所なんだなと思いました。そして博物館を出るともう巳洞中学校^{サドン}の人とはお別れの時間でした。別れた時は、結構悲しかったです。



三日目、この日は先ず慶州石窟庵^{キョンジョソク ラ ム}という所を訪れました。そこはとても景色がいい所でした。それにおもしろい伝説もあったので勉強になりました。そして何より驚いたのは石窟の中に仏像がおられたことです。ですがそこには一般市民はいることができないということだったので残念でしたが見ただけで満足でした。その後には仏国寺^{ブルグク サ}を訪れました。仏国寺では龍の顔をして魚の体をした物を見ました。珍しい物を見れたので良かったです。その後仏国寺^{ブルグク サ}を出て昼食を食べ、それから首都ソウルまで移動でした。ソウルに着くとすぐに夕食を食べに行きました。多くの韓国料理が出て来たのでとても美味しくゆっくり食べられたので嬉しかったです。その後のソウルタワーは

残念ながら行くことができなくなったので、商店街に行きました。そこでは何と日本の有名人も訪れたという店がありました。なかでも1万6千本の糸状のあめで中身を包んで食べるお菓子には驚かされました。そしてホテルに戻りました。ホテルでは最後の晩だったのでみんなが一つの部屋に集まって夜遅くまで遊んでいました。とてもみんなが仲良くなれた楽しい夜でした。

最終日、この日は先ず、^{チャンドックン}昌徳宮という所に行きました。そこは1～15までで場所が区切られていました。その1から順に見て回っていたのですが中でも10の池がデートスポットということだったのでいってみるととても美しい所だったので見たかいたがかったなと思いました。そして^{チャンドックン}昌徳宮を出ると次は^{インサドン}仁寺洞という所に行きました。日本より安くて変わった物が売っている商店街みたいな所だったので楽しかったです。そして昼食を^{ミョンドン}食べた後に明洞という所に行きました。



「韓国を訪問して」

京都文教中学校2年 興杵 未樹

私が韓国派遣団に参加した理由は友達にさそわれた事もだし、韓国はどんな国なのか。と興味があったからです。3月25日に日本を出て市役所のバスで関空まで行って飛行機に乗りました。ちがう国だからけっこう時間がかかるのかなぁと思っていたけれどけっこうすぐに韓国に着きました。韓国に着いた時は日本とそんなに変わりが無かったので私が持っていたイメージとは少しちがったけど、やっぱり、すれちがう人や看板に書いてあった文字が韓国語だったのでやっぱりここは韓国なんだなぁ、と思いました。そうするといききに不安になりましたが行く前にかんたんな韓国語の練習やあいさつなどを少しやっていたので不安よりも楽しみでいっぱいでした。^{キョンサン}慶山市に着くと市役所に行きました。市役所の人たちは本当にやさしく私達を歓迎してくれました。それに市役

所でキムチや韓国のりなどのお土産を買いました。荷物がパンパンになりました。そしてバスに乗って^{インチョン}仁川国際空港に行きました。そこで世話になったガイドさんとお別れをしました。少しさびしかったです。そして飛行機に乗って韓国にさよならをして帰りました。城陽市役所に着くと「日本はやっぱ落ち着くなぁ～」と思いました。

今思えば普通の観光ではできない貴重な体験をさせてもらったことに本当に感謝します。それに3泊4日間という短い間だったけれどこの体験は僕にとって一生忘れられない思い出になったと思います。また、言葉が通じないことの難しさなど今回の体験で学んだことは大きいと思います。だから今回学んだことを友達や家族に伝えたいと思いました。

この度は本当にありがとうございました。

所はキレイで広くて、設備もしっかりしていました。VTRも見せてもらったのですが城陽市よりも発達していて教育にすごく力をいれている市っという感じすごいなぁ、と思いました。その後は市役所の中を見学して夕食をたべました。夕食はとり料理でおいしかったけど、どれもからくてみんなで「辛い辛い」と言いながら全部食べてしまいました。キムチもすごく辛くて「これが本場のキムチなんやなぁ。」と思いました。2日目の朝食もキムチやみそしるや朝からすごく料理がならんでいて韓国ではこれが普通だと聞いた時はびっくりしました。

2日目の予定は、^{サドン}巳洞中学校訪問、^{キョンサン}カッパウィ登山、^{サドン}慶山市立博物館でした。巳洞中学校に行った時は学校の中もすごくキレイだったし、なにより韓国の中学生はすごく日本に興味をもってくれ



ていて、学校中を追いかけまわされて「アンニョンハセヨ」とあいさつしただけで「キャー」と言われ、その反応にびっくりしました。学校内を見学した後は韓国の人とプレゼント交換をしました。待っているときはドキドキして前に座る人ができれば女の人だったらいいなと思いながら待っていると、前に座った人はかわいくてまじめそうな2つ年上の女の人なのでホッとしました。私は雑誌やCDをプレゼントしました。女の方はすごく喜んでくれて良かったです。私がもらったプレゼントは韓国にしか売っていないようなおかしなたくさんもらいました。そのふくろの中にはキレイな字の日本語で、「私は将来日本語の先生になりたいです。ぜひ友達になって下さい」と言う手紙も入っていました。私はその（チンダへ）と言う人とすぐに友達になれました。チンダへは日

本語も話せて話もすごく合ったので楽しかったです。プレゼント交換がおわると、チマ・チョゴリを着せてもらいました。日本でいうと着物みたいで楽しかったです。次はカップウィ登山です。チンダへといろんな事を話しながら登っていったのですが思った以上に階段ばかりでとてもつらくて、しんどかったです。頂上ではチンダへとメールアドレスを交換しました。これからもずっと友達でいようと思います。慶山市立博物館では韓国の文化がくわしく分かってよかったです。

3日目はソウルに行きました。ソウルは京都よりも都会でいろいろなものが売っていました。私はそこで韓国のりを買いました。4日目も買いものでキムチと、友達のキーホルダーを買いました。

私にとってこの韓国派遣団に参加できたことは、きっと一生忘れない良い思い出になりました。普通では出来ない経験をできたと思うし、韓国の人との交流もたくさんできたし、韓国の友だちもたくさんできました。日本と韓国とのちがいも肌で感じる事ができたし、すごく勉強になりました。長いようで短い4日間でしたがすごく楽しかったです。

本当にありがとうございました。



「韓国に行って」

東城陽中学校 1 年 小谷 静也

僕は、小学校のころに、城陽市と慶山市が姉妹都市ということを知って韓国にとても興味を持ちました。中学生になり、この中学韓国派遣団を知り、応募してみました。そして、これに参加できる事になりました。そのときは、とてもうれしかったです。それからは韓国に行くことをずっと考えていたし、その間は韓国語とか韓国の習慣とかをいろいろと勉強していました。そして、3月25日をむかえた時は、「ああ、やっと韓国に行けるんやなー」と思いました。最初バスの中では、「食

べ物は大丈夫かなーとか、友達はしっかりできるかなー」など不安な気持ちでいっぱいでしたが、関西国際空港に着いたときにはもう不安はありませんでした。

韓国に着いた時、一番最初に思ったことは、「あまり日本と変わらないな」という事でした。慶山市の市役所に着く前は、「韓国の人はどうな感じかなとか、言葉は大丈夫かな」など少し緊張していました。でも、会ってみると、「こんにちは、アンニョンハセヨ」と挨拶をし握手を交わせたので、さっき

まで緊張していたのに、とても気が楽になりました。^{キョンサン}慶山市の市長さんや議長さんや他のみなさんはとても優しくかったです。次に行った市場は、日本とはぜんぜん違うのと、激しいみぞれが急に降ってきた事にとってもびっくりしました。韓国で初めての夜ご飯は、最初の肉と雑炊がともうまかったし、その店のおばちゃんが、何か言っていたのが、「おいしい？」と聞いてるみたいだったから、「マシッソヨ（おいしいです）」と言ってみたりもしました。とても楽しかったです。



^{ソクチョン}石井温泉ホテルの大浴場では、韓国の人が、わからない事をゼーんぶ部教えてくださいました。今、とても不思議なのは、その時日本語をしゃべっていなかったのに、僕らが困っていたことの内容までよく分かったなと思ったし、韓国っていい人の多い国だなと思いました。

次の日、待ちに待った^{キョンサン}慶山市の中学生と会う

日です。学校の門を入ったとき2階からすごく多く人が見ていたのでとてもびっくりしました。学校見学の時もすごくたくさんの人が付いてきたので少し怖かったです。韓国の民族衣装を着る時にサドン中学校の先生が、民族衣装の説明をするために僕を選ばれたのでとてもびっくりしたし、緊張しました。昼ごはんの学校給食はとても辛かつ



たです。カップウイ登山は、とても楽しかったです。登り道では、^{キョンサン}慶山市の中学生といっしょに雪合戦をしたし、山頂らへんで野生リスを見つけました。^{キョンサン}慶山市の中学生は、すごく英語と日本語がうまかったしとても元気が良くてすごく優しくかったです。^{キョンサン}慶山市立博物館では、韓国の遊びがとても楽しかったです。

3日目は、最初、^{キョンジュ}慶州のソクラムと^{ブルグク}仏国寺で、^{キョンジュ}韓国の文化を知る事ができました。^{キョンジュ}慶州ソクラム^{ブルグク}仏国寺での説明では、たまに、何言ってるかよくわからなかった時があったけど、仏像がとても大きかったし、古いお寺がいっぱいありました。ちょっと奈良に似ている感じがしました。そのあと、KTXという電車に乗りソウルに行きました。KTXは、新幹線みたいな速さだったので本当に新幹線に乗っているみたいでした。すごく楽しみにしていたソウルタワーに登れなかった事は、残念だったけど南大門市場に行けてよかったです。そのおかげで、韓国のりを買えました。また、蜂蜜を固めて糸みたいにしたあめの売り方がとてもおもしろかったです。

最終日、ミョンドンで韓国最後の食事は、ビビンバです。ほんとにおいしかったです。あと、ビビンバの本当の名前はビビンパだったことも知りました。

この中学韓国派遣団に選ばれて一番良かったことは、まず、いっしょに行った人たち、次に韓国の人たちに友達がたくさんできたことです。僕は、この4日間でとても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



「一生の思い出にのこった韓国旅行」 北城陽中学校 2年 十川 宗一郎

僕が韓国に興味をもったのは、テレビの「チャングムの誓い」というドラマがきっかけです。母が見ていたので何げなく見始めたら、とても料理の色合いがきれいで、とてもおいしそうで一回目から心をひかれました。それで図書館で韓国料理の本を借りて、家で作ったり、レシピノートを作ったりしてどんどんはまっていきました。

そんなとき、市の広報誌に今回の韓国派遣の記事を見つけました。すぐに「行かせてほしい」と母にたのみました。

行程表をみてドラマの舞台にもなった昌徳宮^{チャンドックン}に行けることを知った時とてもうれしかったです。昌徳宮^{チャンドックン}のことはいっしょに行った中学生の中には知っている人はいなかったようですが、大人の中には知ってる人がいて、くわしく話をして喜び合いました。

ぼくがすごいなと思ったことは宮廷の屋根の下に鮮やかな花の絵などがあったことです。

韓国料理は大好きですが、もちろん中学生との交流も印象深かったです。

巳洞^{サドン}中学校を訪問しました。授業風景は日本とほとんどいっしょでした。教室には一人一人鍵がついたロッカーがあり、これは日本とちがうところだなあと感じました。生徒は日本の学校の友達より大人っぽいように感じました。制服の形は日本と同じでした。

2人1組になってぼくたちは韓国語で、巳洞^{サドン}中学校の人は日本語であいさつをしました。ぼくは、好きな食べ物や誕生日をききました。韓国では今、日本のアニメに人気があり、



ドラエモンのことをたずねられました。

昼食もそのペアの人といっしょに食べました。メニューは、ごはん、アサリのスープ、韓国かぼちゃのチヂミとエリンギとにんにくの炒め物とキムチなどです。日本の給食とは違って韓国の給食はおかずが豊富だなあと感じました。



その後、パジョチョゴリ^{男性の着と文楽の着}を着せてもらいました。めったに着られないのですごくうれしかったです。

八公山^{バルゴンサン}にも登りました。1時間くらい登って頂上につくと「笠岩仏」という仏像が現れました。「笠岩仏」に心から願うと一だけ願い事が叶うと言われています。僕も、もちろん、一つお願いをしました。ここでは、さっきといっしょのペアの人にもう一人加わり3人で登りました。このころはもう身ぶりも加えていろんなことを話して仲良くなっていました。

名前や住所、アドレスを交換したので、これから手紙やメールをしたいので、韓国語をもう少し勉強したいです。

昌徳宮^{チャンドックン}や巳洞^{サドン}中学校に行ったり、笠岩仏などが見られてよかったです。

ぼくにとって3泊4日はすごくいい一生の思い出になりました。

引率者のみなさま本当にありがとうございました。

「チョンマッロカムサヘッスムニダ」^(本当にありがとうございましたの意)



「中学生韓国派遣団で感じたこと」

東城陽中学校 1年 寺前 希保

私がこの中学生韓国派遣団に応募した理由は、お母さんの影響で何回か韓国ドラマを見て韓国に興味を持ったからです。

今、私は城陽市を代表して韓国に行って良かったと思います。

ふつうに家族旅行で行っても体験できない事がたくさんできたからです。

それは、韓国の中学校、^{サドン}巳洞中学校を訪問して、学校見学をし、生徒と一緒にカップウィ登山をして、^{キヨンサン}慶山市立博物館に行った事と、市長表敬訪問で、会議室みたいなところに入れて、みんながすごく歓迎してくれたことです。

この他にもたくさん、いい経験ができました。

一日目

すごく緊張していた韓国！

バスから景色をながめていると・・・一番最初に頭に浮かんだ言葉は、『日本とかかわらへんやん！』でした。

日本と同じように住宅街があるし、同じような車やバスが行き来していました。

でもよく見ると、日本と違う所を見つけました。

それは、歩行者用の信号が3つあって青になって少したったらカウントダウンが始まりました。

自動車の信号も4つありました。

色の順番は一緒でしたが、青色と黄色の間に矢印がありました。

後、運転席が日本と逆という3つしか私には韓国と日本の違いが見つけれませんでした。

二日目

一番楽しみにしていた中学校。

^{サドン}巳洞中学校に入った瞬間、『キャー！』という声が聞こえました。

校舎から生徒達が、私達をみてさわいでいた

のです。

校舎に入ると、すぐ図書室に行きました。

そしたら図書室の窓をバンバン叩いて、「おはよー」ってずっと言っていて私達をすごく歓迎してくれてうれしかったです。



学校の校舎を歩き周っていたら、授業をしていました。3月なのに？っと思って先生にきいてみると、韓国では3月から新学期だそうです。

授業中なのに窓をあけてさわいでいて、先生にすごく怒られているのがおもしろかったです。

生徒達と行ったカップウィ登山は、本当にしんどかったです。

ふつうに歩いてもしんどいの、その日は雪が積もっていてみんなで雪合戦！

当てられるのは痛いから走り回りながら逃げていて、何回も行ったり来たり・・・。

頂上に着くころには景色を眺める余裕もなく、ゼーゼーいいながら走り回っていました。

その後、博物館に行きました。

三日目

三日目は、楽しみにしていた大都会ソウルに行きました。

ソウルはすごくにぎやかで、お店もたくさんありました。7 ELEVEN や FAMILY MART もありました。

お菓子も日本と一緒に、カップえびせん・おさつ・トンガリコーンなど・・・日本にいたみたいでした。

四日目

最終日！

ソウルの商店街みたいところで、買い物をしました。

やっぱり韓国！化粧品がたくさん売っていました。

弟のおみやげは、本当に悩みました。

時間はないし、男の子が好きそうな物は売ってないし、何書いているのか分からない！すごく

大変でした。

最後には、お菓子を買いました。

あっという間に集合時間。

最終日は、すごく早く終わったような感じがしました。

日本につくと、久しぶり！ JAPAN という感じでした。

日本に帰ってきて、韓国に行ってたんやなあ～!! と実感がすごくわきました。

こんなにいい体験をさせてもらい、ありがとうございました。



「韓国を訪問して」

東城陽中学校 2年 寺前 沙倭

私がこの韓国派遣団に応募した理由は、まとめて言うと辛いものが好きだからです。私のお母さんが韓国ドラマにすごくはまっていて韓国語も友達と一緒に習っている程なので私も周りが騒いでいるのを見ていたらいつのまにかお母さんの隣で韓国ドラマを見ていました。言葉は分かりませんがすごくワクワクするドラマが多くて韓国に興味を持ちました。去年私の先輩がこの韓国訪問団に参加して、「楽しかったー！来年絶対行きや！」って勧めてくれて、その日から私はこの日を待ち遠しく思っていました。城陽市から10人しか参加できないと聞いた時は、本当に焦りました。参加できると聞いた時は嬉しかったです。しかも姉妹そろって当り！「運良すぎやろー」って馬鹿騒ぎしていました。そして初めて韓国に行くメンバーと会った時知っている人が何人かいてすごく心強かったです。仲良くなれたらいいな、そう思いながら韓国当日を向かえました。

ー 3月25日ー

7時前にお母さんにたたき起こされてバタバタバタバタしていました。最後に持ち物を見直

して車で城陽市役所へ……。ギリギリ到着して「はぁー」ってため息をついたら上着を忘れたことに気付いて朝からすごく大変でした。全てそろったところで城陽市から出るバスに乗って関西空港に行きました。バスの中では皆まだお互いのことを知らなかったので遠慮して話しかけは韓国に居る時より少なかったです。女子同士、男子同士というグループで分けられていました。でも飛行機の中では皆番号がバラバラなので席を変わってもらうために男子と話しました。その一言から皆、男女関係なく遊んだりできたのだと思います。皆で話していたらいつの間にか韓国に着い



ていました。空港からバスで移動！周りの景色を見ると・・・日本？隣の男の子と「ここ韓国やんな」って聞くぐらい日本と似ていました。しかし周りの細かい物を見ると、信号の色が4つあったり、看板には記号がいっぱい書いてあたりしていました。3泊4日も韓国にいていられるのかと心配でした。

キョンサン
—慶山市長—

キョンサン
慶山市のビデオを見ました。その時に甘酒みたいな米粒の入ったジュースをもらいました。飲んだ瞬間皆の顔は一緒・・・変顔でした。もう飲みたくないうって皆で言っていました。



シッケという甘酒

—市場—

日本にも市場はあるけれど、全然違ってびっくりしました。生の魚の横に服や靴が売ってあったり・・・。雪が降っていたのであまり見て回れなかったけど一瞬で「変わった場所やなあー」と思いました。

—ホテル—

ホテルに着いた時は、びっくりしました。だってトイレにティッシュを流したらダメって言われたから・・・。床はオンドルで温かいっていうよりも暑かったです。夜ご飯を食べに出かけカモ料理を食べました。すごく美味しくて、日本でいう鳥肉のようなものでした。おかゆも出て来て始め食べるのに戸惑いましたが食べてみると本当に美味しかったです。ホテルに戻ってお風呂に入り他の子の部屋で騒ぎまくっていたらいつの間にか2時になっていました。

—2日目—

朝、モーニングコールが鳴って起床。^{サドン}巳洞中学校に行ったら、上から「キャーキャー」。有名人の気分でした。トイレに入ったら皆につかまって出られなかったりもしました。

—登山—

自分のペアーの人と皆で山登り！雪で遊んだ

りして疲れたけどたのしかったです。

—お別れ—



私が最後に韓国語で挨拶をして皆笑って、バイバイしてたけどすごく淋しそうでした。メアドを交換してさよならをしてバスで移動しました。

—3日目—

朝からバタバタしてロビーに集まりホテルから移動しました。電車に乗ってバスにも乗って長い旅をしました。移動は皆寝てしまいました。到着して思ったのはキレイ・・・。ベットがあってトイレに鍵が付いていて感動！ご飯を食べて市場に行きました。少し買い物をして満喫してからホテルに戻って部屋で騒いでいたら知らない間にみなで寝ていました。

—4日目—

最後の日・・・そう思うと皆のテンションが高そうで低かったです。チャングムのロケ地に行って写真をいっぱいとり、最後のご飯を食べにきました。あっという間に4日間も終わり飛行機の中で知らない人に話しかけられ爆笑！日本に着いて皆とお別れ・・・。お別れの時はすごくさみしかったです。この機会に皆と出会えて私にとって一生の宝物になりました。



「手に入れた宝物」

洛北高等学校附属中学校 2年 中井 瑞希

韓国は日本ととても近い国です。しかし私は韓国のことはほとんど知りません。知っていることといえば、フィギアスケートのキム・ヨナ選手のこと。話題の韓流スターのこと。キムチや韓国のりなど少しの食文化。学校で習った韓国の歴史。どれも軽くふれる程度で詳しくは知りません。日本という国だけでなく、いろいろな国のことを知り、見聞きし、感じたい。そう思い、中学生韓国派遣に応募しました。

私が今回韓国派遣団に参加して一番心に残ったのは^{サドン}巳洞中学校を訪問したことです。私は初め、不安と緊張でいっぱいでした。言葉が通じない中でしっかり交流できるのだろうか？お互いを表現し合い、打ちとけることができるのだろうか？そんなことばかり考えていました。でもそれと同時に楽しみもありました。韓国の同じ年頃の人とはどんな話をしたり、生活をしているのか興味津々でした。私が中学訪問で緊張していた理由はもう一つありました。それは校長先生への挨拶です。韓国語を使うことも話すこともはじめてで、学校の先生方にちゃんと伝わるのか？恥ずかしがらずに話せるのか？とても心配でした。

^{サドン}巳洞中学はとてもきれいな学校でした。たくさん生徒さんが笑顔で私たちを迎えてくださいました。自然と緊張が緩んで笑顔がこぼれました。生徒さんはみんな明るく、活発で楽しそうでした。いよいよ挨拶です。自信を持ちはっきりと話そうと心掛けました。練習したかいがあってしっかり挨拶することができました。次に交流会。少しおどおどしている私に生徒の方が「お会いできて嬉しいです」と書いた紙を見せてくださいました。とても嬉しく、ホッとしました。プレゼント交換して交流会をスタートしましたがやはり言葉の壁は大きく、もっと勉強しておけばよかったと後悔

しました。



その後、韓国の民族衣装のチマチョゴリを着せていただいたのですが、どうして着たらいいのかわからずにとまどっていると生徒さんが優しくジェスチャーで教えてくださいました。少し近づけたような気がして嬉しかったです。又、別の女の子は日本語がすごく上手で日本のことを良く知っていました。日本のマンガやアニメが大好きで私たちよりもたくさん知っていて驚かされました。

昼食には給食をいただきました。とても種類が多く、その中にはキムチもありました。韓国の生徒さんが普段食べているものを実際にたべることができたのはとてもよい経験でした。

午後からはみんなでカッパウイに登りました。三月だというのに山には雪が積もり、とても寒い日でした。思っていたよりも急な山道で登るのは大変でしたがみんなで雪あてをしたり、おしゃべりをしながら登った山はとても楽しく、体もポカポカになりました。山頂でまず目に入ったのは頭に平べったい石をのせた仏像、カッパウイ・プチョでした。すごく大きく、迫力がありました。新羅時代の仏像で、平べったい石は笠にみたてたものだそうです。こんな大きなものをどうやって運んだのだろう？様々な疑問がうかんできました。心

から願うと一つだけ願い事が叶うといわれていて、仏像の前ではたくさんの人が一生懸命お祈りをされていました。山頂から見た壮大な景色はところどころ雪で白く、とても美しかったです。

言葉の違いをのりこえて打ちとけあえたこの一日。楽しくて、あっという間に過ぎてしまいました。

もう一つ私が楽しみにしていたことは食事です。韓国料理はすごく赤くて辛いというイメージがありました。イメージ通り毎回の食事に水キムチやカニキムチなどたくさんの種類のキムチがでてきて辛かったですが、とてもおいしかったです。食事のマナーにも日本と違いがあります。食器を持ち上げないで食べる、ということに挑戦しました。韓国に行く前は簡単だと思っていましたが実際にやってみると意外と難しく、いつもの癖でつい食器を持ち上げてしまいます。みんなで注意合いながら何とかできるようになりました。お箸も日本のものとは違い、金属製でとても重いもの

でした。他にも目上の人が食べてから自分が食べるなど様々なきまりがあるそうです。

食文化だけでなく他にもいろいろ違いがありました。韓国では3月から新学期がはじまること。写真を撮る時に日本では「チーズ」だけれど韓国では「キムチ〜」ということ。信号が日本は赤黄青の三つだけれど韓国は赤黄青青の四つのところもあること。ビックリすることばかりでしたがそれが楽しく、次はどんなことがあるのだろうと思うとワクワクしました。

今回の韓国派遣団を通していろいろなことを肌で感じることができました。この四日間でまなんだ文化の違い、歴史、新しくできた友達、全てのことが私にとって大切な思い出で、一生の宝物です。これからもたくさんのことを知り、感じていきたいと思います。

最後にお世話になったキョンサン慶山市、城陽市の皆様、韓国派遣団に参加させてくれた両親に心から感謝いたします。ありがとうございました。



「韓国派遣団に参加して」

城陽中学校 2年 中村 帆志

僕が韓国派遣団に参加した理由は、日本とは違ういろいろな事を勉強したいと思ったので参加しました。韓国に行くときは、とても緊張したけど友達とバスで喋っているうちにだんだん緊張がほぐれたので安心しました。飛行機からの景色はとてもきれいでした。気圧のせいで耳が痛かったです。機内食は食べる事がないのでとても楽しみにしていました。とてもおいしかったです。韓国に着いたときに思った事は、風景が日本と全然かわらなかったことがびっくりしました。まるで日本にいるみたいな感覚でした。韓国人と日本人の区別がつきませんでした。

キョンサン慶山市役所を訪問しました。市長さんと会いました。キョンサン慶山市の事についてビデオを見ました。

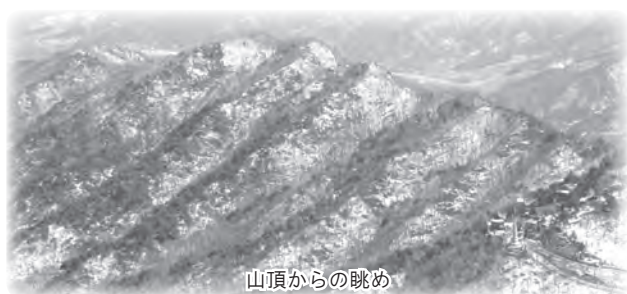
とても学校が多いんだなと思いました。城陽市とは違うなと思いました。ジュースを飲みました。今まで飲んだことのない味でした。



訪問した後は、市場に行きました。みぞれが降っていました。キムチや魚などが売っていたの

で日本と同じだと改めて思いました。市場を見た後は、夕食を食べに行きました。鴨料理を食べました。食べた事がなかったのでとても楽しみにしていました。今まで食べたことのない食感でした。キムチは絶対にでてくることにびっくりしました。夕食の後にはホテルへいきました。すぐに温泉に行きました。はいつたときは、疲れがとれたので気持ちが良かったです。

二日目は、中学生と交流をしました。中学校を見学しました。教室や体育館は日本と変わりませんでした。中学生が歓迎してくれたのでとてもうれしかったです。女の子の髪型がみんな同じだったので驚きました。校則がきびしいんだなと思いました。男の子はとても体が大きかったです。年上の人だと思っていた人が同い年だと聞いてびっくりしました。中学生とはがんばって英語で話していました。伝わらない事などはジェスチャーで何とか伝えようとがんばりました。伝わった時はとてもうれしかったです。伝わるんだと思いました。学校の給食を食べました。鴨料理の時もそうだったんですが、お箸や茶碗が鉄だったことにびっくりしました。食器を持つとマナーが悪いんですが、つい日本での癖がでてしまって何度か持ってしまいました。金属の器は熱かったです。給食はとてもおいしかったです。



山頂からの眺め

中学校の後には、カッパウイ山に行きました。山を登るのはとても疲れしました。足がつりそうになりました。頂上に着くと仏像がありました。頂上からの景色はとてもきれいでした。雪で山が白かったりしてきれいでした。観光客のまねをして拝みました。いい体験になったと思っています。中学生との交流はとても楽しかったです。また連絡をとりたいと思っています。

三日目は慶山^{キョンサン}を離れて電車でソウルへ行きました。首都だからとても町がにぎやかでした。歩いている人の数が城陽市とは比べられないほどの人がいました。日本にある店などがあったのでびっくりしました。ホテルはとてもいい所でした。ベッドだったのでうれしかったです。友達といろいろしゃべって楽しかったです。でも温泉がなかったのであまりつかれがとれませんでした。

四日目は日本に帰る日でした。とうとう韓国を離れるとなるとさみしい気もしました。友達とも別れるとなるとつらかったです。ソウルの宮殿を見学しました。きれいな色を使っていました。また日本とは違うなと思いました。初めての井戸をみました。底が見えなかったのでこわかったです。日本人の観光客がとても多かったです。宮殿はとても広いと思いました。一回は住んでみたいと思いました。宮殿の後は店などを回って見ました。キーホルダーなどはとてもかわいかったです。喫茶店でゆず茶を飲みました。甘くておいしかったです。いっしょにでてきたおかしもおいしかったです。日本でいうポン菓子のような食感でした。昼食は石焼ビビンパを食べました。口に入れたときは熱かったけどとてもおいしかったです。日本でも食べたことはあったけどやっぱり韓国はおいしいなと思いました。ミョンドンに行きました。高いビルなどが多く人も多かったです。ミョンドンではおみやげを買いました。シシカバブという食べ物も食べました。とてもおいしかったです。ユニクロなどがあって日本と変わらないと改めて思いました。ミョンドンの人は日本語がとても上手だったのでびっくりしました。

この韓国派遣団に参加して本当に良かったと思っています。日本では勉強できないいろいろな事を学べました。この韓国派遣団で学んだことを次に活かせたらもっといいと思いました。またいろいろな事に挑戦したいと思いました。世界の平和や友達やお世話になった人達、四日間本当にありがとうございました。思い出に残った四日間でした。



「韓国を訪れて・・・」

京都教育大学附属桃山中学校 2年 原口 夏歩

私は3月25日から四日間、韓国派遣団の一員として韓国を訪れました。外国に行くのは初めてで、行く前からすごく楽しみにしていました。しかし、韓国語を勉強する時間をなかなか作れず、その中で少し覚えた韓国語が通じるのかとても心配でした。

韓国到着二日目、^{キョンサン}慶山市にある^{サドン}巳洞中学校を訪れました。中学校訪問は私が一番楽しみにしていた行事でした。中学校に着くと同時に、現地の中学生たちが駆け寄ってきてくれ、私たちに、積極的に話しかけてくれました。また、学校もまだ新しく、パソコンなどの設備も充実しており、とても教育環境が整っていると感じました。日本語の授業もあるそうで、日本語を話せる中学生がいて驚きました。

私と交流してくれたのは^{キムウンジ}金恩智さんという女の子です。とても優しく接してくれました。プレゼント交換では、民芸品の筆箱やストラップをいただき、嬉しかったです。金さんとは共通に話せる英語で話しましたが、自分の思いをすぐに伝えることが難しかったです。また、韓国の伝統的な衣装であるチマ・チョゴリを着せてもらいました。私が着たのは、赤色のチマ（スカート）と緑色のチョゴリ（上着）でした。韓国らしい配色だと思いました。みんな、色や模様が違う民族衣装を着ることができ、興味深かったです。

^{サドン}巳洞中学校での交流を終え、カッパウィに登りました。途中、野生のリスがいて^{キョンサン}慶山市の自然の豊かさに驚きました。登山では階段が多く大変

でしたが、頂上へ着くと達成感に満たされました。カッパウィから降りる時には金さんが一緒にいてくれて、とても心強かったです。

交流した時間は短かったのですが、金さんや^{サドン}巳洞中学校の人達と別れるのは寂しかったです。けれども、メールアドレスも交換したので、これからもずっと交流を続けていきたいです。



一日目、二日目は^{ソクチョン}石井温泉ホテルに泊まりました。かなり寒い日だったのですが、このホテルはオンドル部屋で、床がとても温かく、寝る時は暑かったくらいでした。

このホテルで印象深い出来事がありました。温泉に入っている時、韓国人の女性に声をかけられました。あまり話していることは分らなかったし、相手にも伝わっていなかったかもしれません。けれど、言葉はわからなくても、とても温かい気持ちになりました。最後に韓国語で「さようなら」を言いたかったのですが、「アンニョンヒ ガセヨ」（行く人に向かって言う）なのか、「アンニョンヒ ゲセヨ」（見送る人に向かって言う）なのか分からなくなってしまいました。でも、このことがあってもっともっと韓国人と話したい、話せるようになりたいと思いました。

三日目のソウルタワー見学は混雑を避けるため中止になりましたが、代わりに南大門市場に行きました。夜に行ったのにもかかわらず、とても賑やかで驚きました。そこで、韓国のりやクルタ



レという韓国の伝統的な蜂蜜のお菓子を買いました。クルタレは昔、王様も食べていたそうで、食べると長寿や健康、幸運や願いが叶うと言われていいます。また、ソウルの人達は日本語が上手で積極的に話しかけてくれて、驚きました。四日も仁寺洞、明洞の市場を見学し、買い物をしたが、韓国の市場はどこも活気があって賑やかでした。

私は、滞在した四日間韓国料理を堪能しました。韓国へ向かう機内食での唐辛子入りのサンドウィッチや食事の度に出てくるキムチ・・・驚きの連続でした。巳洞中学校での給食もとても辛く、韓国の中学生や先生は普通に食べていて、食文化の違いを大いに感じました。しかし、辛いものば

かりではなく、刺身などもあり、日本の食文化に近いものもあるのだなあ・・・と感じました。帰りの機内食ではお寿司が出て、日本の味が懐かしくなりました。

隣の国なのに、食文化・言葉・習慣が異なり、そのことを実際に肌で感じることができました。大切なことは、お互いの違いを認め、尊重し、受け入れようとする気持ちなのだと思います。今回の様々な交流により、言葉が通じないもどかしさと同時に、通じなくても分かり合える喜びも感じました。とても貴重な経験をさせていただいたと思います。

このような機会を与えて下さった城陽市、付き添って下さった国際交流協会の方々、本当にありがとうございました。



「2009 年度中学生韓国派遣団について」

東城陽中学校 1 年 松田 健太郎

僕は中学生派遣団に参加させてもらえて、本当によかったと思っています。

最初は補欠の 1 番、いけるかどうかとても不安でしたが、城陽市国際交流協会の方々の、おかげで参加することが出来ました。

今回、中学生韓国派遣に参加しようと思ったのは、お母さんに「参加してみたら？」といわれた事と、韓国と日本は近い国なのに知らないことがたくさん有ったからです。例えば、戦争の影響で日本人を良く思っていない人もたくさんいることや、若い人は日本の事をどう思っているのかなど、知りたいことがいっぱいあったからです。

僕は韓国に行ったことがなかったし飛行機に乗るのも初めてだったので、いろいろ緊張していました。でも友達もいたし知り合いもいましたので安心できました。飛行機の中は、TV で見たことがあって中の様子は予想どおりでしたが、飛行機が上がる時には、思ったよりスピードが出てびっくりしました。それとあがったときには重力

がかかって体が重くなったので驚きました。

初日は雨が降っていて飛行機からの景色が見えなかったので残念でした。飛行機は意外と退屈で、しゃべったりしていました。時々窓から下を見ると無人島が所々にありました。

韓国に近づいてくると船や養殖所などが見えました。そのすぐ後には、町が見えてきて看板がハングル語で書かれていて韓国に着いたことを実感しました。韓国には思っていたよりも多くのビルがあって都会みたいだった。

空港からバスで一時間半揺られてついたのが慶山市役所でした。城陽市役所よりも大きくて驚いたし、正面玄関に中学生歓迎の横断幕が掲げてあった事がうれしかった。城陽市と慶山市は姉妹都市だからこんな歓迎をしてくれているんだと思う。

慶山市長表敬訪問の時、市長さんがウインクしながら握手してくれました。通訳の人がウインクしていたのは尊重しているからだを教えて

くれました。ウインクひとつにこんな意味があるなんて驚いた。市長さんは怒っているみたいだったけど違うかったので良かった。

^{キョンサン}慶山市が僕たちに用意してくれていたジュースなのに甘すぎて飲めなかったので^{キョンサン}慶山市の人に悪い気がした。

^{キョンサン}慶山議会訪問の時には会議室みたいな所で議長の座る椅子のところに上がれてうれしかったし議長はいいところに座れてうらやましいと思った。

その後、^{キョンサン}慶山市場を見学できると思ったのでわくわくしていたけど、バスから降りると雨が降っていて、その後は氷みたいなのが降ってきて見学は歩いて回るだけになったので残念だったし、とても寒かった。

夕食の鴨料理がとてもおいしかったし、カニのキムチみたいなのは辛かったけどおいしかった。

^{ソクチョン}石井温泉ホテルではオンドル部屋が暑くなっていて窓を開けていないと暑すぎた。お風呂は岩盤浴やサウナが気持ちよかったけど、部屋に戻ると暑くて汗が出たので風呂に入った意味があるのかと疑問に思った。

2日目には^{サドン}巳洞中学校に行きました。韓国の中学生はどんな人たちだろうと思っていたら前髪パンでほとんどの人が眼鏡をかけていました。僕の想像とは違っていました。中学校もとても大きくて驚きました。この学校は造られて間もないというのに、勉強で先を行く学校と聞いて、よっぽどがんばっているんだと思い、見習わないとだめだと思いました。

プレゼント交換の時には日本語で書いた手紙をもらいとてもうれしかったです。自分はそこまで考えられなかったので勉強のこと以外にも見習いたいと思いました。

学校の給食にもやはりキムチがでました。鴨料理も出てレストランで食べているようでした。でも、日本と違うことはプレートにいろいろなご飯やおかずを入れていくことです。

博物館では外に韓国の遊び道具があり、それ

を使い遊びました。楽しかったです。



3日目は移動はバスでなく KTX という電車に乗りました。バスからではわからない韓国の人々の生活が少し見えました。昼食は待ちに待った焼肉のはずが思っていたのとは違ってすき焼きみたいだった。

ソウルに着いてからはホテルでチェックインをすませ、韓定食を食べた後、ソウルタワーに行く予定だったけど順番待ちが長すぎて、市場を回りました。そこでは、韓国海苔と1万6千本の糸状にのばしたあめを買いました。どちらもおいしかったです。最後の夜は UNO などをしたりしておもいっきり楽しみました。

最終日は^{チャンドクン}昌徳宮というところに行きました。2km 歩いていくコースでしたが、それよりももっと長く感じました。そこでは、韓国の歴史について説明してあり、韓国を学べたのではないかと思います。昼食はビビンバでした。とてもおいしくいただきました。キムチもおいしくナムルなどもおいしかったです。^{インチョン}仁川国際空港まで航空リムジンに乗って移動しました。リムジンだから長い高級そうなのを想像していましたが、空港まで行くバスだったのでガッカリしました。

飛行機に乗ると少ししてから出発しました。夜のフライトだったので、夜景がきれいでした。

こんな旅行が出来たのも城陽市国際交流協会の皆さんと、韓国の関係者のおかげなので感謝しています。

ありがとうございました。

カムサハムニダ。

文集の発行にあたって

私が中学生だったのは 50 年程前のこと。その当時は城陽市に初めての中学校である「城陽中学校」が開設された頃で、「国際交流」なんてとても考えられないことでした。

韓国^{キョンサン}慶山市の中学生との交流事業は 1994 年から始まり、慶山市へは今回を含めて 13 回訪問しており、134 名の中学生が参加しています。また、先方からは 2003 年から 5 回の訪問を受け入れており、両市の中学生は貴重な体験をしてきました。

今回、図らずも訪問団の団長として参加させて頂きましたが、最近是我的身近に中学生がいないので、彼らがどんな考えで、どのようにして毎日を過ごしているのか判らず、そのことにも興味を持ちつつ韓国を訪問した次第です。

慶山市長を表敬訪問しましたが、市長からは
＊韓国は経済的には日本に近づいたが、精神面で見習うことが多い。日本人の「人に迷惑をかけない」と言う姿勢を見習いたい。

＊中学生の皆さんは物事の良否を見極める能力があるはずだから、良い所を持って帰って欲しい。

などの温かいお話がありました。

開校してまだ数年と言う^{サドン}巳洞中学校を訪問しましたが、この学校は近辺では指折りの優秀な学校だとのことで、確かに学生たちは規律正しい学校生活を送っているように見えたものの、概して明るくて元気そうでした。

また、意外だったのは「日本語」の授業があるとのことで、日本語の先生がいて我らの通訳をしてくれたことです。勿論「英語」の授業もあります。日本では「韓国語」の授業をしている中学校があるのでしょうか。

学校には広い食堂があり、生徒達はそこで全員が昼食を食べるとのことで、この辺りにも日本との違いを実感させられました。

生徒達はお互いが対面しての自己紹介や韓国



韓国^{キョンサン}慶山市長と握手する人見団長

の伝統衣装を着せて貰ったり、一緒にカップवाई（西暦 638 年に造られたという大石仏で如来坐像）へ行ったりしましたが、言葉の壁を乗り越えた交流が出来ていたようです。メールアドレスの交換をしたという生徒もいました。

「慶山市立博物館」や世界文化遺産である慶州^{キョン}の「石窟庵」^{ソクラム}「仏国寺」^{ブルグクサ}やソウルの「昌徳宮」^{チャンドックン}を訪問したり、KTX（韓国の新幹線）に乗ったり、ソウルの繁華街を歩いたりで、生徒達は戸惑いながらも得難い体験をしてくれたものと思います。

この記念文集を読むとそのことがよくお分かりいただけると思います。

参加した生徒達の「一生の思い出」「一生の宝物」として、これからの人生を切り開いて行くきっかけ、スタートになればと念じる次第です。

そして、今後も中学生の交流事業を続けて行き、彼らの人生の糧になるような体験をしてもらいたいものですが、企画する側としても、世情にあわせて、より効果的なやり方、内容になるよう検討していきたいと思います。

最後になりましたが、今回の韓国訪問にご支援、ご尽力頂きました関係各位に心からお礼申し上げます。

2009 年度中学生韓国派遣団団長
城陽市国際交流協会副会長

人見 章夫



慶山市議会の見学、中央は裴漢喆議長



巨洞中学校の交流会にて（左・上）



パルゴン
八公山カッパウィにて



キョンジュブルグクサ
慶州仏国寺にて

編集・発行：JIEA 城陽市国際交流協会

〒610-0121 城陽市寺田西ノロ7-4 西邦ビル2階

TEL：0774-57-0713 FAX：0774-55-0560

Eメール：office@jia.jp ホームページ：http://www.jia.jp/